

# イチオシ!

## M OVIE

### 『おじいさんと草原の小学校』

独立から39年目、ケニアで初等教育が無償化されると、子どもたちに混じって一人の老人が学校へやってきた。一度も教育を受けないまま、祖国独立のために戦った元マウマウ団戦士のマルゲ、84歳。若き校長ジェーンは、何度入学を断っても古着仕立ての制服を着て毎日通ってくる彼を、ついに受け入れる。その途端、父兄や役所とのトラブルが始まり、やがて政府やマスコミをも巻き込んだ一大騒動に。そのせいで、ジェーンはとうとう遠方の小学校に異動となってしまう。マルゲは、ジェーンが戻ってこられるよう、子どもたちとともに奮闘する。学びたいという強い意志を持ち続けた84歳の小学生の実話をもとにした作品。(文=高信宣義)



© 2009 British Broadcasting Corporation, UK Film Council and First Grader Productions Limited. All Rights Reserved.

2010年／イギリス／103分  
 監督：ジャスティン・チャドウィック  
 出演：ナオミ・ハリス、オリヴァー・リンド、トニー・キゴロギほか  
 公開：7月30日(土)より、岩波ホール(東京・神保町)ほかにて全国順次公開  
 配給：クロックワークス

## E VENT

### 長倉洋海写真展『北の島・南の島』

地球温暖化により北極と南極の氷が溶け、海面上昇や気候変動などを引き起こす。その影響が特に懸念されている「北の島」と「南の島」に暮らす人々の生活や表情を、写真家・長倉洋海氏が撮影。北極圏に位置する氷と雪の島グリーンランドで、今なお犬ゾリを使った狩りの生活にこだわる「北の島」のイヌイット、平均海拔1メートルの赤道直下の「南の島」カビンガマランギ環礁で暮らす人々…。環境の変化により今の生活が続けられなくなるかもしれない中、彼らは何を思っているのか。写真の中に共存するのは、雄大な自然とその土地に息づいて暮らす人々。その姿から、地球環境保護の大切さを感じられるはず。

日時：7月1日(金)～20日(水) 10時半～19時(無休)  
 7月6日(水)～14日(木)は18時半まで、最終日は15時まで  
 会場：コニカミノルタプラザ(東京・新宿) 入場料：無料  
 URL：www.konicaminolta.jp/plaza/schedule/2011july/island/  
 問：コニカミノルタプラザ TEL：03-3225-5001

## B OOK

### 『そのこ』

世界には、学校に行けず働かなければならない子どもがおおよそ2億1,500万人。これは世界の子どもの7人に一人の計算だ。遠い国の話だと思いがちだが、実は私たちの暮らしと無関係ではない。例えば、チョコレートや洋服の原料となるカカオやコットンは、そんな子どもたちによって生産されているのだ。本書は、児童労働をテーマにした谷川俊太郎さんの詩に、塚本やすしさんのイラストが加わった絵本。ガーナのカカオ畑で働く「そのこ」の過酷な毎日を通して、自分にできることは何か考えようというメッセージが込められた一冊。収益の一部は、世界の子どもを児童労働から守る活動に取り組む認定NPO法人ACEに寄付される。



この本を  
1人の方に  
プレゼント  
詳細は  
38ページへ

谷川俊太郎 詩  
塚本やすし 絵  
晶文社  
1,575円(税込)

## B OOK

### 『いま誰もが気になるアフリカの大疑問』

飢餓や貧困、紛争一。そんなイメージにとらわれがちなアフリカが今、「成長の大陸」として世界中から熱い視線を浴びている。豊富な地下資源を有し、5%前後の経済成長率を維持している一方、チュニジアやエジプトでは長期独裁政権が民衆の力によって崩壊し、その余波がまだまだ続いている。本書では、新しい時代に突入したアフリカについての基礎知識や政治体制、経済、自然、文化、紛争など、あらゆるテーマを解説。日本が近年アフリカ向けの政府開発援助(ODA)を強化しているなど、日本とアフリカの関係についても知ることができる。



この本を  
1人の方に  
プレゼント  
詳細は  
38ページへ

ニュースなるほど塾 編  
河出書房新社  
570円(税込)